

みょうじょうのことごと

明星神社社務所

立春が過ぎ暦の上では春ですが、寒さが一番厳しい季節となりました。皆さま、いかがお過ごしでしょうか。

今回の『みょうじょうのことごと』では、この2月に行いました祭祀について、お知らせいたします。

【トピックス その壱：二月の月次祭を執り行いました】

2月1日に、本年最初の月次祭^{つきなみさい}を執り行いました。いつもは、20人くらいの地元の方が参加されるのですが、さすがにこの寒い時期ですので今回は少なく、それでも10人ほどの方がおみえになりました。

6時ちょうどに下村宮司より月次祭開催の言葉があり、続いてお祓いを行ったあと、このひと月の平安を祈る祝詞が奏上されました。

最後に、ご参詣くださった方よりの玉串奉奠^{たまぐしほうてん}があり、今年最初の月次祭は とどこおりなく終了しました。



明星神社では、1月を除く毎月1日 朝6時より月次祭を催行しております。

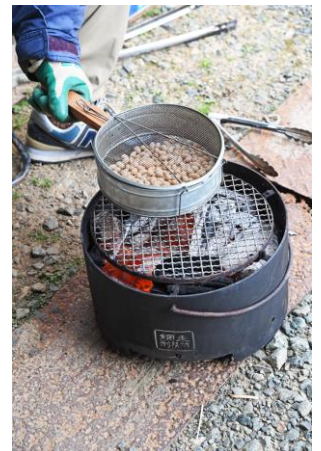
皆さまも、どうぞお気軽にご参加くださいますよう、よろしくお願いいたします。

【トピックス その弐：節分会を執り行いました】

明星神社では、今年より節分会を執り行うことといたしました。

古来より豆には邪を祓う力があると信じられており、それを旧暦の大晦日である2月3日に撒くことで一年の間に知らず知らずのうちに溜まった邪を祓い、新しい年を清らかに迎えていただきたいという思いから、今年より始めることとなりました。

どうぞ、今後ともよろしくお願いいたします。



そうはいいながら、何事も初めてのことに苦勞がつきもの。特に、その作業のほとんどが手作業という、アナログ体質の明星神社ですから、今回もかなりの試行錯誤がありました。

もちろん、福豆は自家製です。乾燥大豆を一晩水に漬けて柔らかくし、それを適度に天日干しをしてから、炭火で炒ります。と、簡単に言いましたが、この天日干しの頃合いと炭火の温度、炒り具合が難しいのです。

さんざん試し干し、試し炒り、そして試し食いを重ねた結果、ちょうどよい頃合いをつかむことができ、自分たちで食べても「おいしい！」と言える炒り豆を作り上げたのですが、それまでにいったい何粒の豆が試食の名のもとに、私たちの胃袋におさまったことか。。。

この炒り豆を特製の紙袋（このデザインも、自家製です）に入れて、封をして「令和六年 節分福豆」の完成です！



当日は40人ほどの方がお参りにおいでくださいました。寒い中をお参りくださり、本当にありがとうございます。

祭祀は午前10時より開始、まずこの福豆を神前に供え、お祓いを行い、下村宮司が節分の祝詞を奏上したのちに、境内に「鬼は外、福は内！」の声とともに福豆を撒き、節分祭はとどこおりなく終了しました。



そのあとは、お参りくださった方々への福豆の授与です。一番最初に授与されたのは、ご両親と一緒に参りくださった男の子でした。

福豆を受け取られた方々からは、「本格的な福豆だなあ」とか、「この袋、可愛い」とか、さらには「あ、おいしい！」という声があがり、和気あいあいとした空気が境内に満ち満ちていました。

今回の節分祭、残念だったのはお子さまの参拝がちょっと少なかったことです。

でも、初めてにしては豆もおいしくできたと、参拝してくださった方々からも喜んでいただけたと、私たちは自画自賛しています。来年はどういう節分会にしていこうかと、すでに考え始めている明星神社の面々です。



【お知らせ】

- ・明星神社では、毎月第2日曜日と満月の日に御朱印授与を行っています。2月の授与日は、11日（日）と24日（土）の10時から15時までです。皆さまのお参りを、心よりお待ちしております。
- ・3月10日（日）10時より、臨時総代会議を開催いたします。各地区神社総代及び自治会長は、ご参加よろしくお願いいたします。詳細は、追ってお知らせいたします。またこの日は、3月末で離任される総代の方々への慰勞食事を会議後に予定しておりますので、こちらもお参加よろしくお願いいたします。